

坐薬のおはなし

坐薬とは・・・？

肛門に挿入して使用する外用のお薬です。直腸内で徐々に溶けて、粘膜からお薬の成分が吸収されるようになっています。今回は坐薬について薬剤科よりご案内致します。



坐薬の使用・保存方法

1. 手をよく洗い包装から坐薬を取り出します
2. 坐薬の後部をつまみ、先のとがった方から中腰か横向きで寝た体勢で挿入した後、立ち上がれば楽に挿入できます。お子さんに使用する場合は、仰向け又は横にして膝を曲げ、太ももをお腹に近づけた姿勢をとらせて挿入します。挿入しにくい時は、坐薬をかるく水で濡らしてから使用するとよいでしょう。また冷蔵庫で保管していて冷たい坐薬は、挿入時痛みを感じることもあるため、使用前にすこし室温においてから使用するとよいでしょう。
3. 挿入してしばらくの間は、坐薬が外に出るのを防ぐために、肛門を押さえて下さい。また、挿入後20～30分は歩行や激しい運動は控えて下さい。

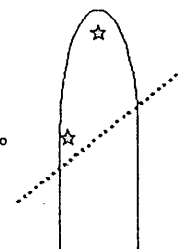
- ※ 挿入時の直腸への刺激で便意をもよおすことがありますので、なるべく排便後に挿入してください。また、お薬の品質を保つために直射日光や湿気を避けて、冷所保存の指示がある場合は必ず冷蔵庫で保存してください。
- ※ お子さんが口にしないように手の届かない所に保管してください。



坐薬 Q & A

Q. 坐薬を半分にするにはどうしたらいいですか？

A. 清潔にしたカッターやナイフで図のように切断して使ってください。この時、カッターなどは温めておくとよいでしょう。



点線で切って下さい。

Q. 挿入した坐薬が出てきてしまったらどうしたらいいですか？

A. 出てきた坐薬の型が崩れていないようならば、もう一度挿入しなおして下さい。坐薬が溶けて変化している場合には、お薬の一部が吸収されていることが考えられます。お薬の効き過ぎを避けるため、すぐ新しい坐薬を挿入することは避けてください。(通常坐薬は挿入後10～20分程度で溶解します。)

Q. 病院で坐薬が数種類だされたときの使用順序・使用方法は？

A. 坐薬には水溶性(水に溶けやすい性質のもの)と脂溶性(脂に溶けやすい性質のもの)とがあり、使う順序を誤るとお薬の効果が弱まってしまうます。また、症状が出たときに使用するものや時間毎に使用するものがあり、正しい理解が必要になります。その都度医師や薬剤師に確認してください。